

Fw:東北FanMeeting 東北暮らし発見塾 Special

移住支援者のための 関係人口ワークショップ 開催レポート（詳細版）

エイチタス株式会社

2023年3月

【開催日時】2023年2月7日(火)-8日(水)

[1日目] 2月7日(火)13:00-19:00

[2日目] 2月8日(水)9:00-12:00

【開催場所】enspace 2F コワーキングスペース
(〒980-0803 宮城県仙台市青葉区国分町1-4-9)

【プログラム】

[1日目]

13:00-13:30 イントロセッション「パタンランゲージで関係人口の法則を作ろう」

ファシリテーター：原 亮 氏（エイチタス株式会社代表取締役）

* ファシリテーターは以後全セッション共通です。

13:30-15:00 セッション①「教えて指出さん！多様な関わりの作り方」

メイン講師：指出 一正 氏（ソトコト編集長）

15:15-16:15 セッション②「JOINと考える首都圏での移住アピール作戦」

メイン講師：渡邊 明督 氏（JOIN事務局次長・総括参事）

16:15-17:30 セッション③「観光から導く地域と来訪者の持続的なご縁づくり」

メイン講師：鈕持 勝氏（eResort 代表）

17:30-19:00 セッション④「デジタル活用で関係人口を増幅させるには？」

メイン講師：藤井 靖史 氏（西会津町CDO）

* 19:00以降、会費制（3,000円）・任意参加で会場内にて懇親会を実施します。

[2日目]

09:00-10:00 セッション⑤「わたしたちの“関係人口の法則”を描く」

講師：渡邊 明督 氏（JOIN事務局次長・総括参事）

鈕持 勝氏（eResort代表）

藤井 靖史 氏（西会津町CDO）

10:00-11:30 セッション⑥「関係人口の法則を編み上げる」

11:30-12:00 クロージングセッション「2日間の振り返りとアクションの宣言」

【主催】復興庁 【企画運営】エイチタス株式会社

【参加対象者】

- ・今年度の東北暮らし発見塾開催地の移住コーディネーター・自治体担当者
- ・岩手・宮城及び福島県の移住コーディネーター・自治体担当者

【参加人数】●名（2日間でのユニーク数）

【講師】

指出 一正 氏（ソトコト編集長）

渡邊 明督 氏（JOIN事務局次長・総括参事）

鈕持 勝氏（eResort 代表）

藤井 靖史 氏（西会津町CDO）

* 告知時のアイキャッチ画像

■ テーマ「みんなで読み解く“関係人口の法則”とは？」

* 告知文より転載

本イベントは、移住のプロセスとして重要な「関係人口」を拡大するための法則について、ゲスト講師のインプットを通じてキーワードを抽出し、「パタンランゲージ」の手法を用いて、移住促進に取り組む参加者のみなさんと一緒に編み上げます。2日間で編み上げるアウトプットは、「関係人口の法則」として、開催後も事務局と有志で編集を続け、東北で広く共有できるものへつないでいきます。

また、ワークショップを通じてみなさんの関心にあわせて講師へのお悩み相談も行います。東北で移住促進を手がけるみなさん同士の横のつながり作りと、みなさんの日々の実践をアップデートする機会として、奮ってご参加ください。

■ 実施内容

- ・ 外部有識者4名から個別テーマについて話を聞き、インプットを行う
- ・ 有識者との質疑・対話により、疑問点・不安点などの解消を目指す
- ・ 関係人口の法則を描き出すためのパタンランゲージを描く

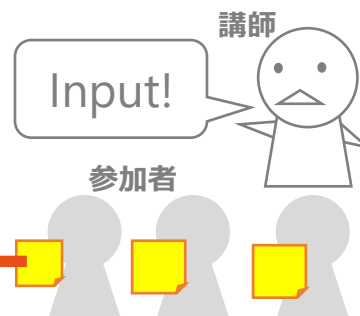
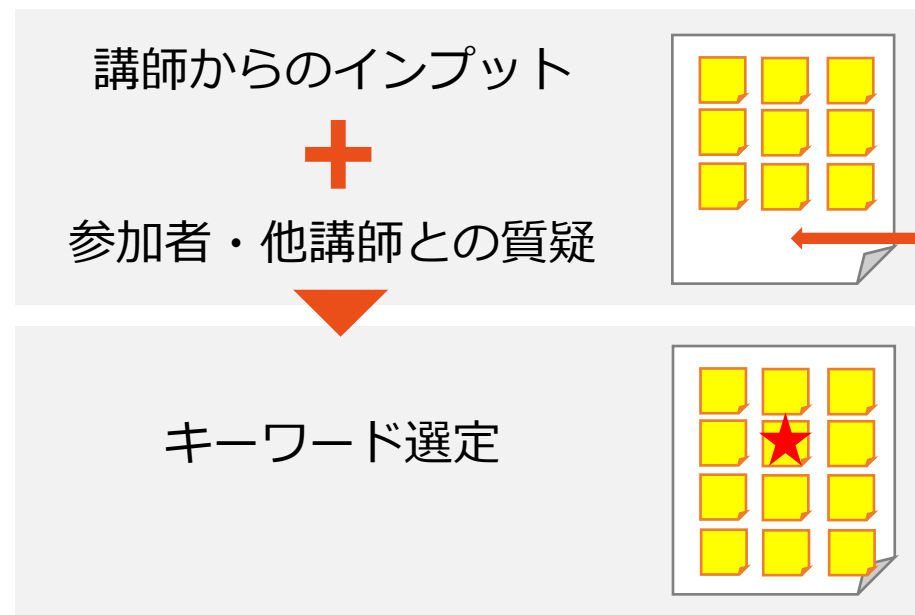
■ 事後に期待する効果

- ・ 地域間の横のつながりで相談・アクションを起こせる関係となる
- ・ 本ワークでの出力を出発点として、パタンランゲージがブラッシュアップされ、精度・量・構造化が進展する
- ・ パタンランゲージが関係人口の手引きとして活用が進み、各地の取組の質が向上する

■ DAY1 イントロセッション

パタンランゲージおよび本ワークでの活かし方について、ファシリテーターから解説

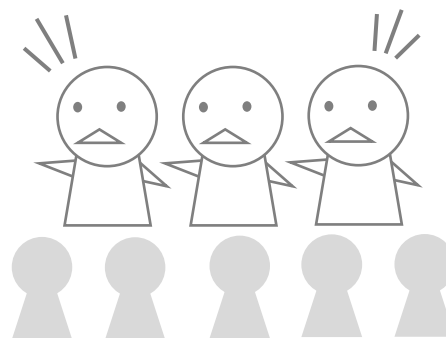
■ DAY1 セッション①～④



講師の話を聞きながら、キーワードだと感じた言葉をセッション中に付箋に書き出す。

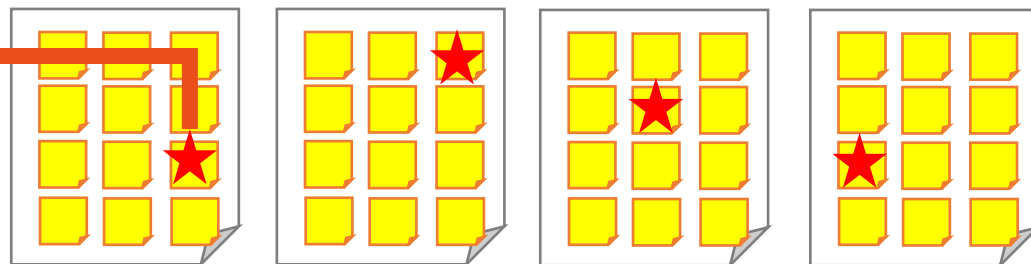
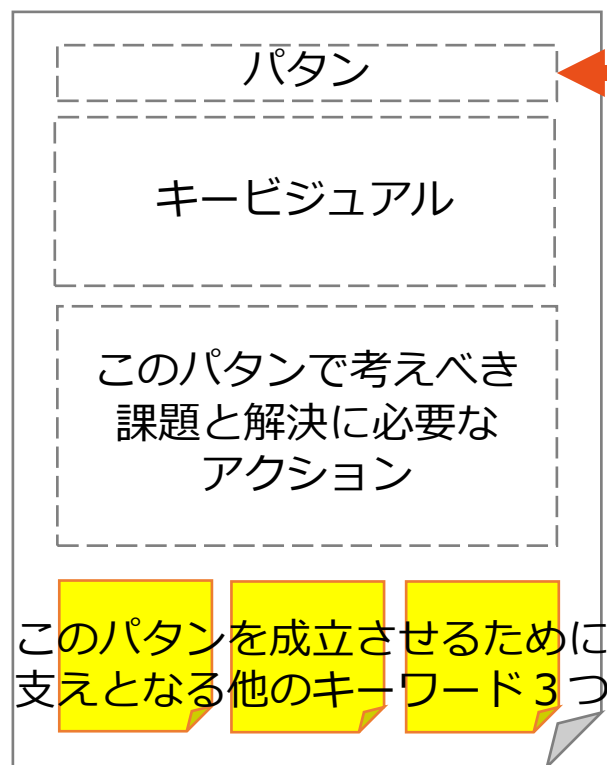
書き出したキーワードのうち最も心に留めておきたいと感じたものをセッション毎に1つ抽出していく。

■ DAY2 セッション⑤



1日目に抽出したキーワードについて、講師陣からコメント。

■ DAY2 セッション⑥



選出したキーワードを見出し語（＝パターン）として、パターンランゲージのフォーマットに落とし込み、必要な要素を埋めていく。
（各グループ2～4パターンを作成）

描いた内容を発表／講師から一言コメント

■ クロージングセッション

以下について各グループで振り返りのディスカッションを行う

- ・ 関係人口の法則について、自分たちで考えてみた感想
- ・ 今後実践していきたいアクションや地域間で起こしたい連携について
- ・ パターンランゲージの作成活動への関心・コミットについて

講師から感想&応援コメント

各セッションの講義／ワーク内容

主催の復興庁より立岩里生太参事官の開会あいさつを行いました。その後のイントロセッションでは、ワークショップの趣旨・目的や進め方についてファシリテーターより解説。

移住のプロセスとして重要な『関係人口』を拡大するための法則について、ゲスト講師のインプットを通じてキーワードを抽出し、『パタンランゲージ』の手法を用いて、移住促進に取り組む参加者とともに『関係人口の法則』を編み上げていく旨を説明。「パタンランゲージ」についても、当該テーマに必要な多数の要素をキーワード（＝パタン）として言語化し、各キーワードを関連付けて文脈化（＝ランゲージ）することで、アクションの手引きを描く手法ものとして説明を行いました。



セッション②では、JOINの渡邊氏に、移住促進の活動の実践から得られた知見やノウハウを披露いただき、アンケート活用の注意点や、ジョハリの窓などのフレームを用いての移住に関する考え方をお話しいただきました。

【渡邊氏の講演概要】

JOINの活動概要や移住のトレンドについて紹介。「ジョハリの窓」のフレームに使い、地域側も移住交流希望者も知らない“閉ざされた窓”を一緒に掘り起こしていくことで、“開かれた窓”が大きくなり、関係人口につながる。

【主な質疑】

Q:地域と地域おこし協力隊のマッチングをうまく図るにはどうしたらよいでしょうか？

A:地域おこし協力隊にやってもらいたいことを明確に提示することが重要。将来地域に残ってもらうには、たとえスキルが十分でなくても、育てていくつもりで採用してはどうか。「地域おこし協力隊の募集でも、ぼんやり伝えるよりポイントを絞ることが大事。見せ方を変えることで価値が伝わります。

Q:移住イベント後に移住希望者とつながりを持つのが難しい

A:イベントではあくまで情報提供を行い、その次のアプローチで相手の話をきっちり聞くことが大事です。



セッション③では、イーリゾートの弐持氏より、データで見える地域の実態や、関係人口の狙いどころについて解説をいただきました。首都圏以外のアプローチ先や、全国の可処分所得の実態などを具体的に示していただきました。

【弐持氏の講演概要】

地方地域にはイノベーションが必要であり、外的要因の把握（＝各種統計の確認）から始めるべき。実は東京の人がいちばん使えるお金がない。関係人口・交流人口でも狙うべきは首都圏以外である。お金があるところに人が集まるので、人を呼び込むには地域の平均所得（＝使えるお金）を上げることが大事。それが可能な地域産業があるかどうか、また、所得を上げるために生産性を上げていけるかどうかのカギ。また、その地域を訪れるリピート者数は、単純に“会話量”にも比例する。

【主な質疑】

Q:リピート者数は会話量に比例するということですが、東北の人はシャイなのでネガティブな発言が多い。それでも大丈夫でしょうか？

A:話はネガティブな内容でも問題ありません。とにかくコミュニケーションがあればOKです。

Q:コミュニケーション関連で、オンライン・リアルを使い分けはどうすればよいのでしょうか？

A:メールなどで事前にコミュニケーションを取り、その後にリアルで会うと愛着を持ってもらえます。



セッション④では、西会津町CDOの藤井氏より、ご自身の関係人口としての経験を踏まえ、人を地域に招き入れて起こったことなどを解説いただき、デジタルは道具に過ぎないという視点について、示唆をいただきました。

【藤井氏の講演概要】

自身も交流人口として、西会津国際芸術村をはじめ、まちに人を呼び込む仕掛け「コ・コクリ！会津」や、保育園留学（短期移住）など、西会津町でのさまざまな実践を体験してきた。「西会津は交流人口が多く、豪雨災害時にも多数の支援をいただきました。有名な自治体でなくとも、自分たちがつながりたい人と、SNSなどで何となく・よい感じでつながっている。

デジタル活用に関しては、「何のために？」という目的が大事。DX（デジタルトランスフォーメーション）＝ICT活用ではなく、「ユーザー視点に立って、働き方改革をすること」だと考えている。これを地域の文脈に置き換えると、「移住者の立場に立って、自治体が変わること」である。何のために定住・移住を進めるのか？それがほんとうにゴールなのか？目的をきちんと考える必要がある。

【主な質疑】

Q:若者が動きやすい地域にすることが大事だというお話がありましたが、若者を大切にする一方で、地域の高齢者のことも考えないといけないので、どうアプローチすればよいのでしょうか？

A:移住者や地域おこし協力隊の若者と、地域の人々との軋轢はよくある話です。地域の方々全員の理解を得るのは難しいので、ピンポイントで大事なところだけ押さえること。また、軋轢がなければよいというわけでもありません。向かい風があるからこそ一致団結できるということもあります。



1日目のセッション終了後に、任意参加による懇親会を行いました。セッションでは聞けなかった話題などで、講師や参加者間の交流が進んだほか、各地の参加者から告知や報告も行われ、盛況となりました。



セッション⑤では、前日のセッションで得られたキーワード（後掲）から、パタンランゲージ化に進めたい重要なキーワードの選定を行い、渡邊氏、鈕持氏、藤井氏の講師3名からコメントをもらいました。

セッション①（指出氏）からは「関係人口を定義しない」「復習型の人（が関係人口になりやすい）」、セッション②（渡邊氏）からは「見せ方（を変える）」「両極の融合」、セッション③（鈕持氏）からは「リピート数は会話量に比例する」、セッション④から「Web2.0」「小さな声を拾う」などが、複数のグループでキーワードとして挙がりました。

ゲスト講師からは「本人が楽しむ」というキーワードについて、「自分が楽しんでいることを出すと、“ごきげんさ”伝わるのでは」（藤井氏）などのコメントがあがりました。



H-tus 2日目 セッション⑥

セッション⑥では、選んだキーワードを見出し（パタン）として、パタンランゲージのフォーマットに沿って、関係人口の法則となる「関係人口のパタンランゲージ」（後掲）を描き出し、発表を行いました。

全グループ合計23のパタンが生まれ、今後のブラッシュアップに期待が持てる結果となりました。



クロージングセッションでは、2日間の振り返りとアクション宣言が行われました。「関係人口の法則について、自分たちで考えてみた感想」「今後実践していきたいアクションや地域間で起こしたい連携」「パタンランゲージの作成活動への関心・コミット」などについてグループごとに話し合い、共有をしました。

「定量で現状を把握するところから動いていきたい。また、今回の参加者で情報共有するグループを作り、東北全体として発信していきたい」

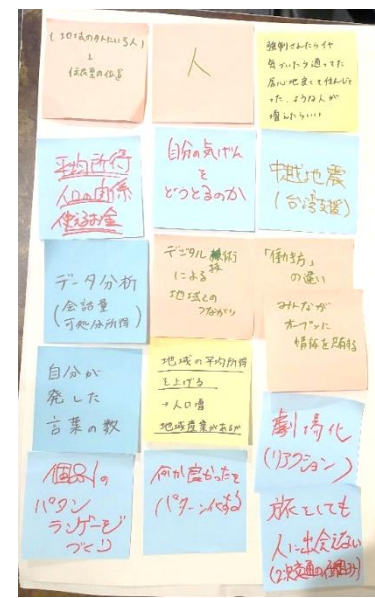
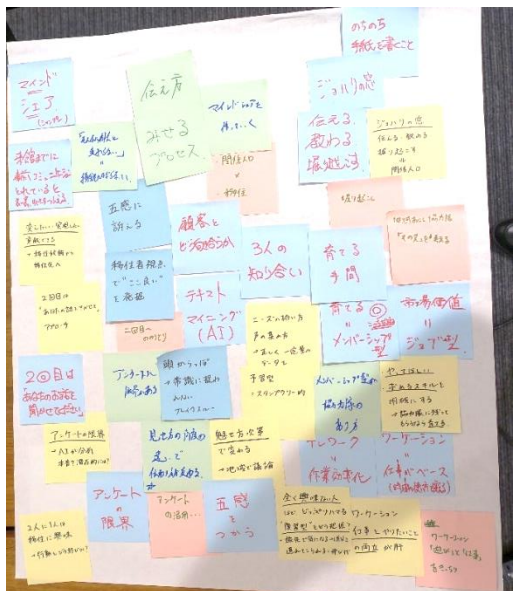
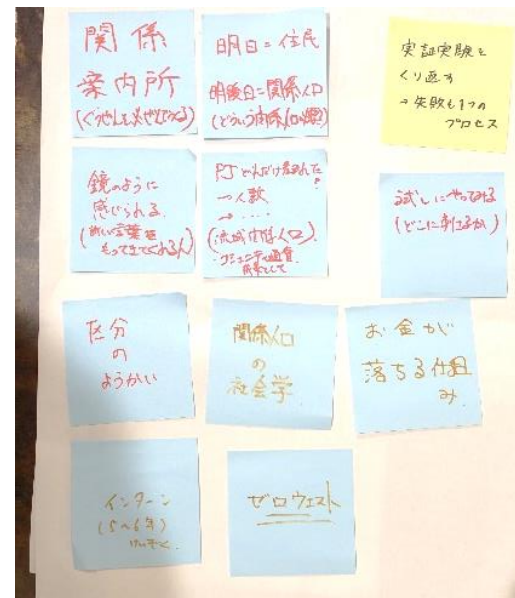
「市町村のみなさんと連携しながら、県として広域だからできることをやっていきます。移住してもらうかどうかだけでなく、移住者のその後の幸せも考えていきたい」

などの声があがりました。最後に各ゲスト講師のメッセージと復興庁の早川勝重政策調査官から閉会挨拶があり、閉会となりました。今後は、ワークでアウトプットされたキーワードやパタンを活かし、今回の参加者から有志を募り、地域を超えてパタンランゲージ制作の活動を継続するなどの動きを進めていきます。



参加者アウトプット





パタン名

自然と自然体活る町

キービジュアル

パタンの説明

自然体活る町
自然体活る町

- ・最新の観光が町の魅力を自然体活る町
- ・地元の高齢者が自然体活る町
- ・自然体活る町の魅力が自然体活る町

このパタンを伝えるキーワード (対象者へ伝えるポイント)

- ・地元の高齢者が自然体活る町
- ・最新の観光が町の魅力を自然体活る町
- ・自然体活る町の魅力が自然体活る町

このパタンを伝えるキーワード (対象者へ伝えるポイント)

- ・地元の高齢者が自然体活る町
- ・最新の観光が町の魅力を自然体活る町
- ・自然体活る町の魅力が自然体活る町

パタン名

データ分析

キービジュアル

パタンの説明

データ分析
データ分析

- ・ターゲットや目標、現状が曖昧、適切な施策を打てていない
- ・合意形成できない (各々が感覚で判断)
- ・他地域との差別化ができていない (強み、弱み)

このパタンを伝えるキーワード (対象者へ伝えるポイント)

- ・ターゲットや目標、現状が曖昧、適切な施策を打てていない
- ・合意形成できない (各々が感覚で判断)
- ・他地域との差別化ができていない (強み、弱み)

このパタンを伝えるキーワード (対象者へ伝えるポイント)

- ・ターゲットや目標、現状が曖昧、適切な施策を打てていない
- ・合意形成できない (各々が感覚で判断)
- ・他地域との差別化ができていない (強み、弱み)

パタン名

みせるプロセス

キービジュアル

パタンの説明

みせるプロセス
みせるプロセス

- ・地域の強みや弱みを整理、可視化 (エタペリ) できていない
- ・他地域との差別化ができていない
- ・ターゲットに合わせた施策、伝達の手段と適切に選んで活用できていない

このパタンを伝えるキーワード (対象者へ伝えるポイント)

- ・地域の強みや弱みを整理、可視化 (エタペリ) できていない
- ・他地域との差別化ができていない
- ・ターゲットに合わせた施策、伝達の手段と適切に選んで活用できていない

このパタンを伝えるキーワード (対象者へ伝えるポイント)

- ・地域の強みや弱みを整理、可視化 (エタペリ) できていない
- ・他地域との差別化ができていない
- ・ターゲットに合わせた施策、伝達の手段と適切に選んで活用できていない

パタン名

ゴキケン (= Wellbeing)

キービジュアル

パタンの説明

ゴキケン (= Wellbeing)
ゴキケン (= Wellbeing)

- ・地域に訪ねてきて消費的 (住民の生活)
- ・他地域との差別化ができていない (自然体活る町)

このパタンを伝えるキーワード (対象者へ伝えるポイント)

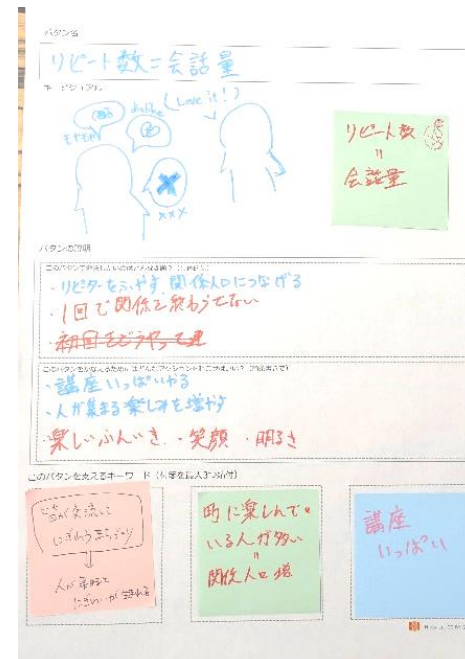
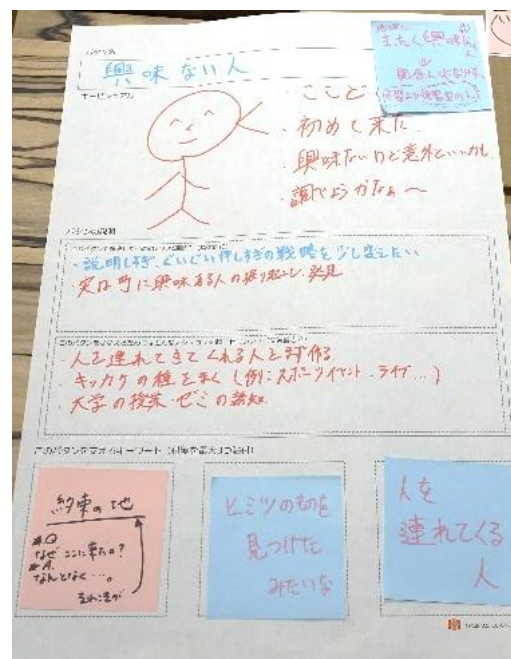
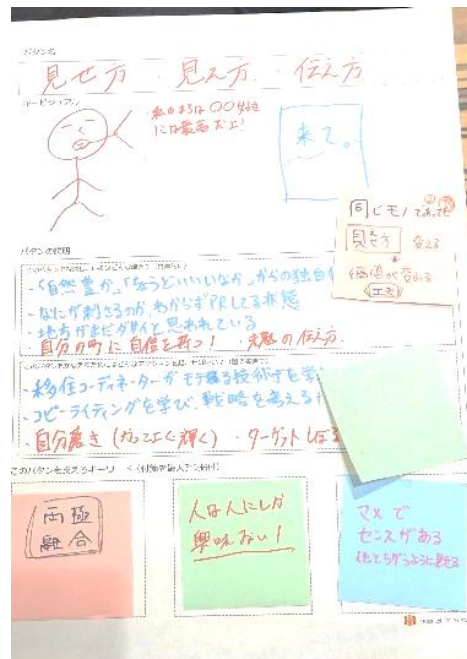
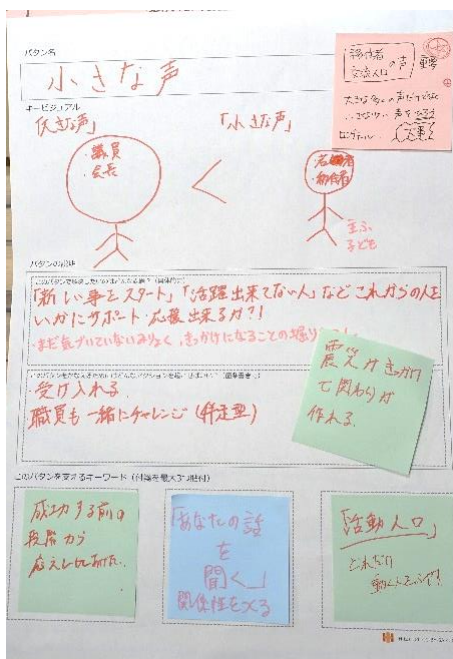
- ・地域に訪ねてきて消費的 (住民の生活)
- ・他地域との差別化ができていない (自然体活る町)

このパタンを伝えるキーワード (対象者へ伝えるポイント)

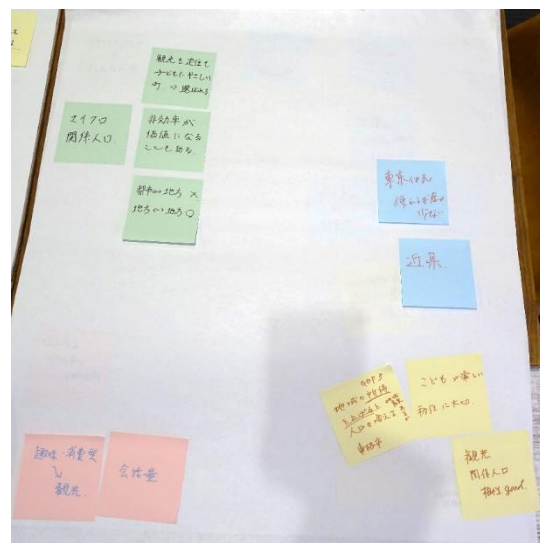
- ・地域に訪ねてきて消費的 (住民の生活)
- ・他地域との差別化ができていない (自然体活る町)











パタン名 ごきげんな会話を増やす

キービジュアル



パタンの説明

このパタンで解決したいのはどんな課題? (具体的に)

- ・瞬間的な来訪者より関係人口にする
- ・「内エムカレ」が伝わりづらい

このパタンをかなぐり捨てるとどんなアクションを起こせばいい? (回答欄まで)

来訪前

- ・役場、ほくなくやれり
- 「/」「/?」
- ・過剰なごきげんの見せ方 (口コシ)

来訪後

- ・ありのままのライブ感を伝える
- ・来訪者と住人のごきげんをテーマにブログ(黒子)を育てる
- ・住人の人柄ややり取りを見せる化

このパタンを変えるキーワード (付箋を最大3つ貼付)

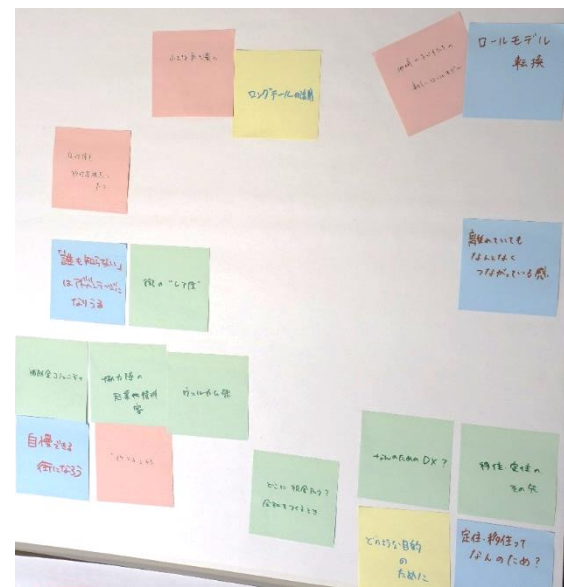
ごきげん
である

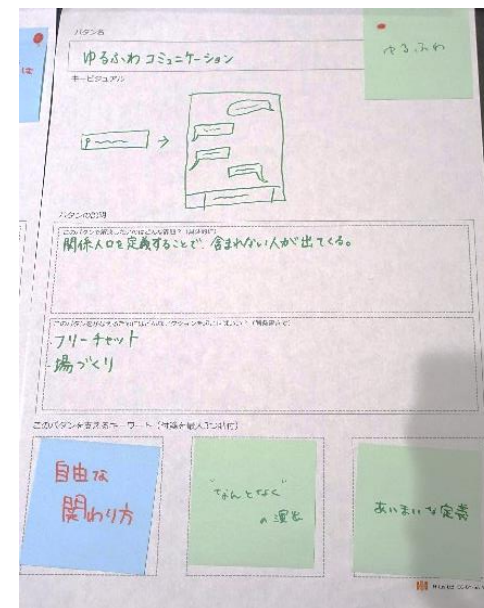
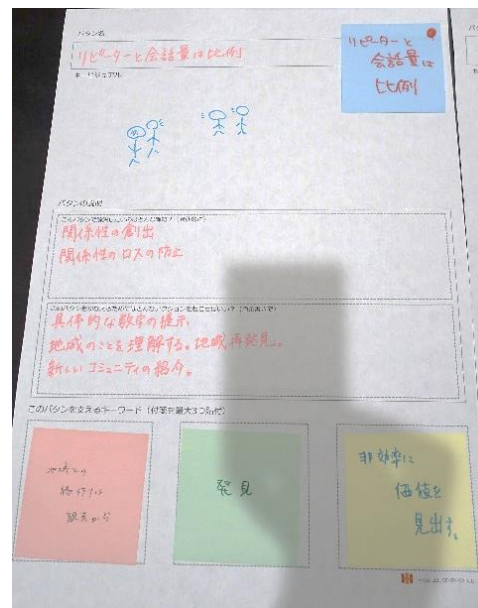
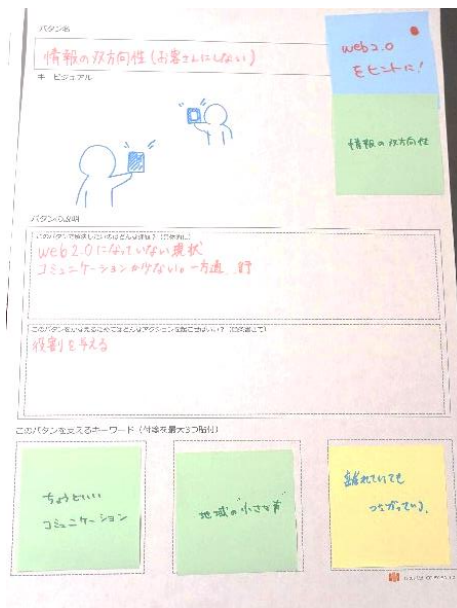
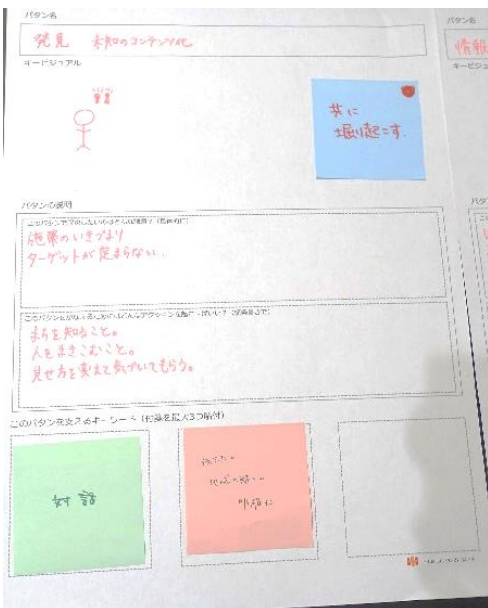
関係人口を
定義しない

人は
トコロ
段々になる

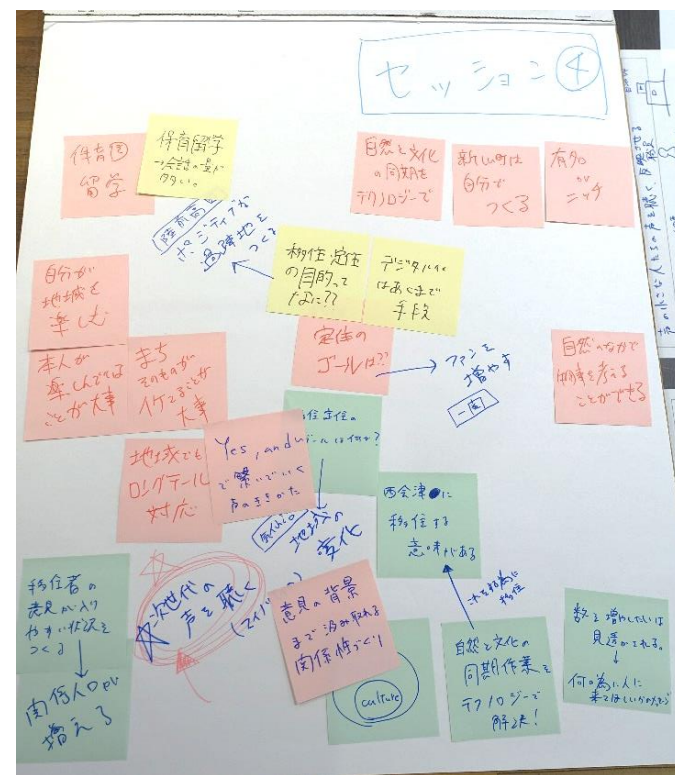
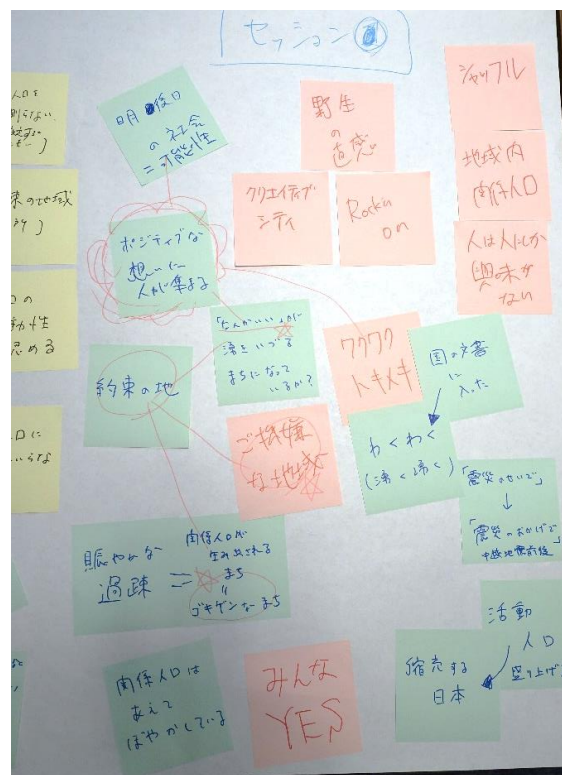
H-tus Ltd. CC-BY-SA 4.0

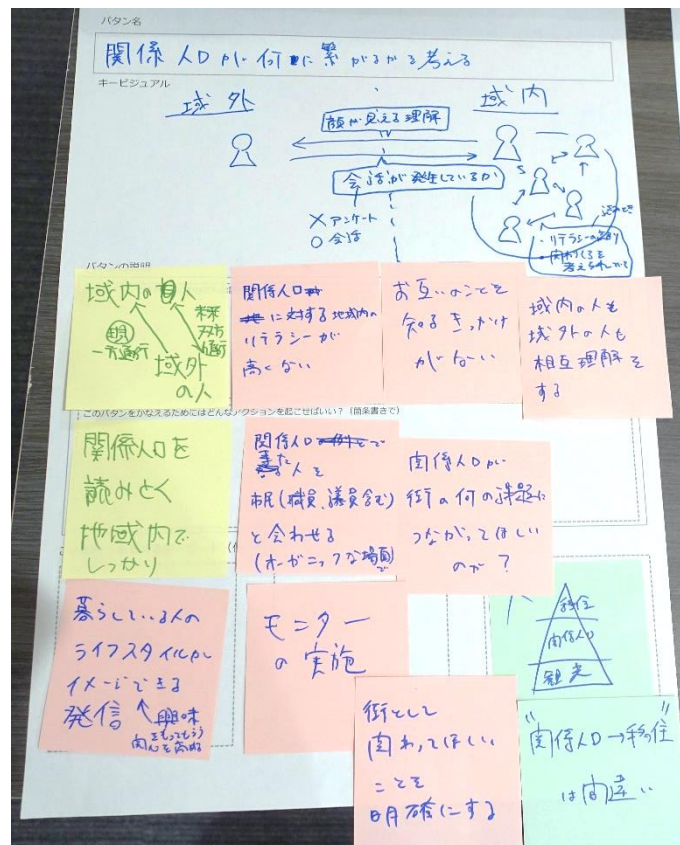




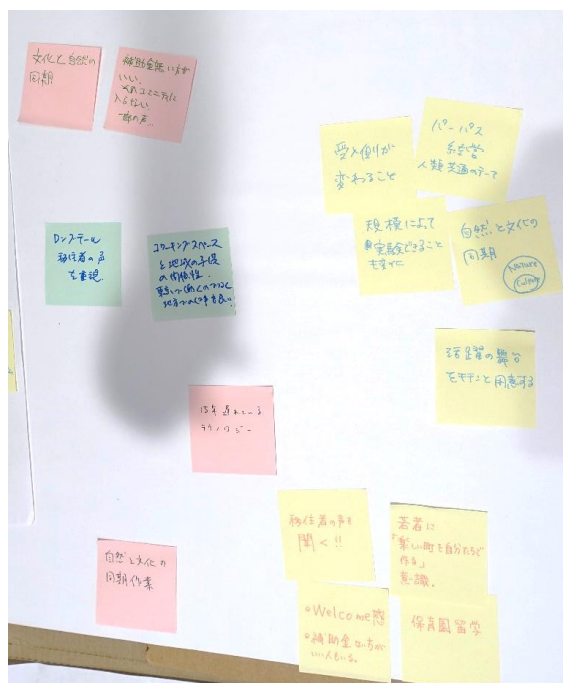
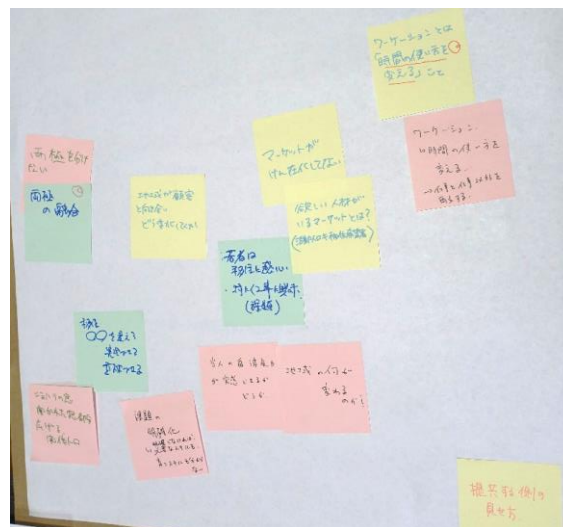


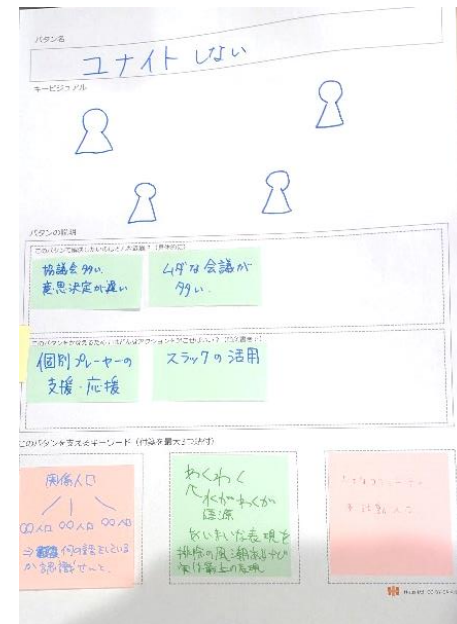
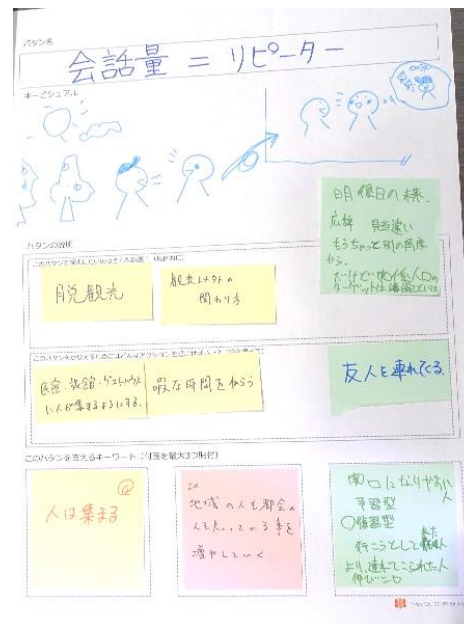
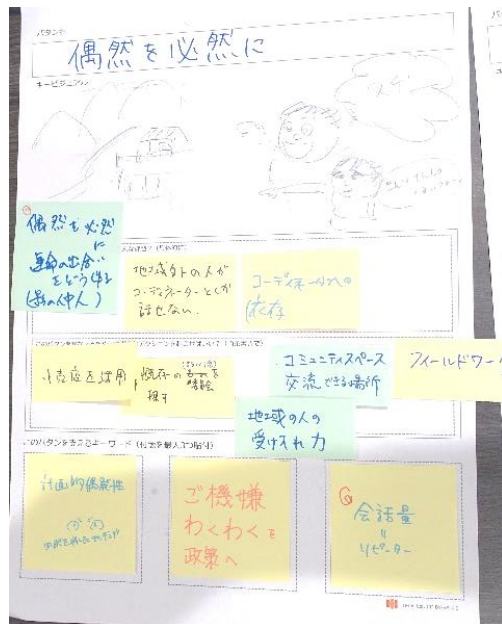
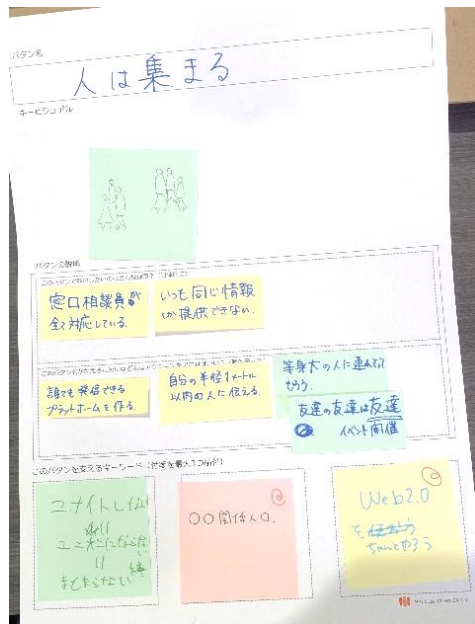




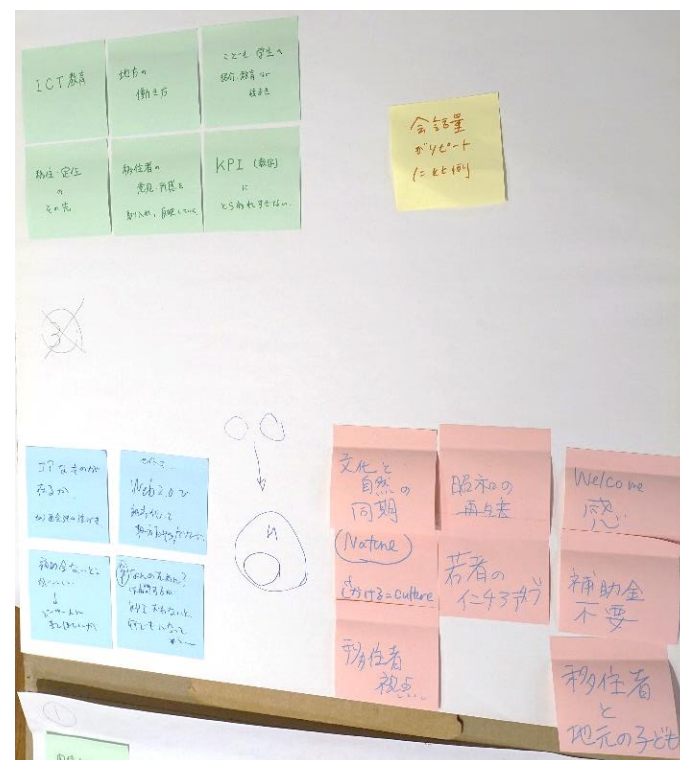












パタン名 復習型の人

キーワード 関係人

パタンの説明

ターゲット設定 ~~は~~ の幅と枠が広い
新しい層を呼び出したい

このパタンを学ぶことで、どのようなアクションを起こすことができる? (目標設定)

・復習型の人をターゲットに人間的な色設定
・「かぶり」深い関係人の中にいることが重要

このパタンを覚えるキーワード (内容を最大3つ選択)

- 他人となく下まき (100%)
- 宝珠のゆび、心
- 復習型の人

パタン名 会話量ハリピートに比例

キーワード 会話量

パタンの説明

・リピーターが少ない (関係人口、フーテン等)
・多

このパタンを学ぶことで、どのようなアクションを起こすことができる? (目標設定)

・通話メールの活用
・地元の人にトークが大きいことを知らせる、どんな人 (100%)
・多聴を出すトークがカリ

このパタンを覚えるキーワード (内容を最大3つ選択)

- リピーター
- 人はいない! 興味がない
- 会話量

パタン名 ネイチャーとカルチャーのサイエンス

キーワード 自然と文化のサイエンス

パタンの説明

気候変動に対する自分への感
を高める

このパタンを学ぶことで、どのようなアクションを起こすことができる? (目標設定)

・当事者と当事者の人々を助ける
・学術の機会、~~実際~~ 学術を助ける
・地方の文化を圧倒的に見せる

このパタンを覚えるキーワード (内容を最大3つ選択)

- ネイチャーとカルチャーのサイエンス
- 非効率な文化
- 偶然、必然、出会い、制作

パタン名 ギャップを埋める

キーワード ギャップ

パタンの説明

選べない時
人間関係のあはれ

このパタンを学ぶことで、どのようなアクションを起こすことができる? (目標設定)

・討議する時間、互いに気づきあう機会を設ける
・互いの違いを認識する、急がない、ゆっくり

このパタンを覚えるキーワード (内容を最大3つ選択)

- 両極の融合
- エイト
- ロングテール





エイタス株式会社

〒140-0014 東京都品川区大井1-6-3

アゴラ大井町ビル3階

T 03-5050-2709 F 03-6369-4873 E info@htus.jp

<https://htus.jp>